

高山赤十字病院 広報誌

Vol.57

令和4年
新春号

日赤たいむ

謹
賀
新
年



- 新年のごあいさつ ●新副院長のごあいさつ
- 新任医師の紹介
- 栄養課おすすめ簡単レシピ
- 赤十字講習会のお知らせ

新年のご挨拶

高山赤十字病院
病院長 清島 満



新年明けましておめでとうございます。本年も宜しく願い申し上げます。ここ数年、高山地方は地球温暖化の影響なのか比較的暖かいお正月が続いていますが、やはり凜とした冷氣漂うお正月の方が新年を迎えて心機一転を図るのに相応しい気がします。

さて、令和4年（2022年）を迎えますが今年は当院にとりまして非常に意義深い年になります。というのは、当院は大正11年（1922年）11月に前身の飛騨三郡立大野郡病院から日本赤十字社（1877年設立）に移管されて開院しましたので、今年の秋で100周年という大きな節目を迎えることになります。「人道」「博愛」「奉仕」の赤十字精神に則り、飛騨地域の医療に邁進してきました。当院が100年もの間地域の中核病院として存続できたのは「何かあったらとりあえず日赤に」とか「日赤ではいつでも診てもらえる」という地域住民の方々からの厚い信頼があったからだと思います。その期待に応えようとする私たちの思いは医療を介した皆さまとの深いつなが

りにあるのだと考えています。コロナ禍の状況如何で不確定な要素はありますが、今年の秋に100周年記念式典と記念誌の発刊を予定しています。式典はなるべく簡素に行う予定ですが、翌年には100周年の記念行事も計画しています。地域の方々に参加していただけるようなイベントを企画していますので是非楽しみにしててください。

さて、国内ではデルタ型のウイルスによる第5波が昨年の8月末をピークにかなり収束してきてホッとしていたのですが、今度はオミクロンという新しい変異株が出現してきました。何とか早く万能ワクチンなるものができますようにと、新年にあたり祈願したい気持ちですが、ここ飛騨圏域は観光客が多く訪れるところでもあり、今年もこのウイルスに対しては皆さまとともにその防御に努めて参りたいと思います。

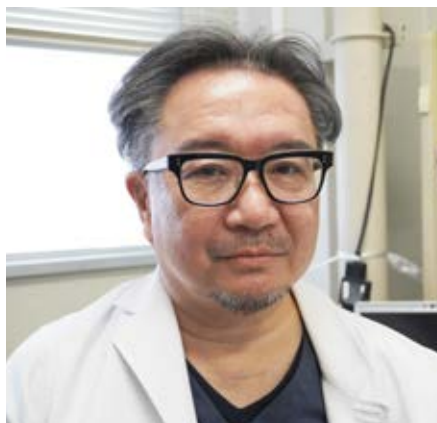
ところで、全国の医療機関は当院も含めこのウイルス対策のほかには2024年4月から施行される「医師の働き方改革関連法」に頭を悩ませています。これは時間外労働を960時間/年以内に制限するものですが、病院によっては医師不足で遵守できないこともあるので

1860時間/年以内に緩和できることになっています。但しその場合は連続勤務時間制限を厳格に守らなければならないので却って対応が難しくなることが予想されます。このことを踏まえ、医師確保にはこれまで以上に尽力していく覚悟です。

最後に、一昨年からコロナ禍で一旦凍結していました病院の新築計画を改めて検討したいと考えています。築40年以上を経過する施設もあり、老朽化対策が当院の喫緊の課題であります。今後も飛騨地域唯一の救命救急センター等の機能を維持し、「最後の砦」としての使命を全うするためにも行政の方々のみならず、今後は地域の方々にも当院の現況とこの地域の医療事情を併せて説明し、ご理解を頂けるように皆さまと一緒に議論をしていく必要があると考えています。

当院は地域に根ざす病院として「ふるさとを守る医療」を実践しています。これからも地域の皆さまに信頼され、愛される病院として全職員が努めてまいりますので今後ともご支援をお願いするとともに皆さまのご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。

副院長就任のごあいさつ(前田副院長)



副院長 前田 雅人
(兼 第一整形外科部長)

令和4年9月より副院長を拝命しました前田です。

これまで整形外科部長として飛騨地域の急性期医療に携わってきました。

飛騨は医師としての私を育ててくれた土地でもあるため、整形外科医としてこの地域の役に立ちたいという思いで30年近く働いてきました。

ただし私がこの土地で働き始めた頃と現在とでは医療を取りまく社会事情が大きく変わっています。現在の地域医療を取り巻く環境は過酷です。

当院は1次から3次救急の受け入れをはじめとする急性期医療を担って

いますが、救急車の搬入件数は年々増加しています。昨年の常勤医師1人当たりに対する救急車の搬入件数は岐阜県内では大垣市民病院次ぐ多さというデータも出ています。さらに新型コロナウイルスの流行は発熱患者対応、ワクチン接種への協力などの業務を増やし、医師・看護師などスタッフへの負担を増加させています。

そんな中でも病院スタッフは医療崩壊を防ごうと必死になって働いてきました。

もともと医療費の削減や急性期病床の削減が政策として推し進められてきたことは病院収益の減少や、深刻なスタッフ不足を引き起こし、山間部の中核病院にとって病院機能を維持することすら難しい時代になっています。スタッフも医療崩壊を防ごうと頑張っていますが、中には疲弊して転職を考えるスタッフも出てきています。

この地域の医療を守るために我々病院職員も必死に働きますが、医療崩壊を防ぎ、地域医療の質を維持するためには地域の皆さんの理解とご

協力が不可欠です。

具体的には、

①入院退院は病院が適切と判断したタイミングでできるように協力していただくこと(これによって病床の不足を防ぐことができます)

②不用不急の救急受診を避けること(医療従事者の疲弊を防ぐことにつながります)

③手術や検査を受ける際には安易に他の地域に行かず一度当院を受診して相談していただくこと(術後、検査後に合併症などあった際にも遠方に行かなくても地元で対応することが可能になります)などがあげられます。

この先人口の減少も確実に起きてきます。医療の充実なくして地域の活性化はあり得ません。地域の皆さま、行政、病院が手を取り合いながら地域医療を守っていければ、飛騨地域にも明るい未来が期待できると思います。

一人の整形外科医としても、新米副院長としても地域医療の充実のために今後も精進する所存ですのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

創立100周年

新年にあたり当院の明るい話題として本年100周年を迎えます。

1922年(大正11年)11月に大野郡病院から日本赤十字社に移管して高山赤十字病院が設立されました。この100年の間、当院が飛騨地域の基幹病院としてその役割を果たせたのは、地域の方々との厚い信頼関係があったからこそです。心より感謝申し上げます。

「いままでの100年」を振り返るとともに、「これからの100年」をどう乗り越えていくのか。新型コロナウイルス感染症により、地域医療はさらに厳しい局面を迎えていますが、今後も職員一同、地域医療のために尽力していききたいと思います。

「これからの100年」もどうぞよろしくお願いいたします。



新任医師の紹介



産婦人科

荒堀 憲二 (あらほり けんじ)

11月より赴任しました荒堀です。飛騨地域は広大な面積に希薄な人口という難題を抱えています。当院の周産期母子・小児医療センターがこの広い地域の母子の医療と保険を護る要として責任を果たせるよう努めて参りたいと思います。地域のお母さん、お父さん、医療・行政の関係者の皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



内科

松本 聖司 (まつもと せいじ)

10月から高山赤十字病院で勤務させていただいている松本 聖司といたします。皆様のお役に立てるように頑張りますのでよろしくお願いいたします。



内科

大谷 毅一 (おおたに けいち)

岐阜県総合医療センターより参りました大谷毅一と申します。
1月から3月までお世話になります。高山の医療に貢献できればと思います。よろしくお願いいたします。



内科

小泉 悠 (こいずみ はるか)

1月より消化器内科に着任しました小泉悠と申します。
高山の医療に少しでも貢献できるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



内科

内藤 知希 (ないとう ともし)

内科専攻医として10月から半年間赴任となります。大学時代は福井で過ごしておりましたので、久しぶりの雪に懐かしさを感じております。
ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、よろしくお願いいたします。



内科

平野 雅 (ひらの みやび)

10月より着任いたしました平野雅です。約2年半ぶりに高山に戻ってまいりました。
まだまだ未熟物ではありますが、飛騨地域の医療に貢献できるよう日々精進いたします。
よろしくお願いいたします。



耳鼻咽喉科

早野 賢 (はやの けん)

2021年10月より勤務しています耳鼻咽喉科の早野 賢です。
飛騨地域の方々の医療に貢献できるように努力したいと思っております。よろしくお願いいたします。



産婦人科

手塚 慶吾 (てづか けいご)

産婦人科医の手塚 慶吾と申します。
飛騨地域の医療に貢献できるよう努力したいと思います。よろしくお願いいたします。

飛騨メディカルハイスクールに参加しました。

高山市が主催する飛騨メディカルハイスクールに参加しました。

当院からは医師、看護師、検査技師、薬剤師などの職種が参加し、高校生の方々に病院での仕事ややりがいなどをQ&Aを交えながら話をしたり、病院の紹介動画を放映したりしました。

動画については、高山市のホームページに掲載されていますので、興味のある方はぜひご覧ください。

<https://www.city.takayama.lg.jp/kurashi/1000016/1000092/1015596.html>



栄養課おすすめ! 簡単レシピ

えびのトマトクリームパスタ (エネルギー(大人1人分)622kcal)

材料

- スパゲッティ(乾麺)…80g
- バナメイ海老…3~4尾
- 塩コショウ…少々
- 白ワイン…少々
- オリーブオイル…小さじ1と大さじ1
- コンソメ…小さじ1
- にんにく…1かけ
- 玉ねぎ…1/4
- トマト缶…50g
- 生クリーム…30g
- かいわれ大根…少々
- お好みで…パセリ、アボカド、ほうれん草などで彩りをプラス



下準備

- 海老の下処理をする。殻、背ワタの処理をする。臭み消しのため、塩コショウ白ワインにつける。
- 玉ねぎ1/4を好みの大きさにきざむ。
- 大きい鍋に湯を沸かす。

作り方

①海老の殻をパスタソース用に調理する。

海老の殻をオリーブオイル小さじ1で赤色になるまで炒める。そこに水100ml、コンソメ小さじ1を入れ、煮詰める。粗熱が取れたら、煮詰めた海老の殻とスープをジューサーにかけ、リードペーパーでこす。

②パスタソースを作る

ニンニク1かけの皮をむき、軽く潰してオリーブオイル大さじ1で炒め、オリーブオイルにニンニクの香りをつける。そこに海老を入れさらに炒め、塩コショウを少々入れ下味をつけ、玉ねぎを加え軽く炒める。さらに、トマト缶50gと①を入れて混ぜ、最後に生クリーム30gを入れ弱火で混ぜながら火を止める。

③パスタを茹でる

沸かした湯に塩(分量外)を入れ、パスタをアルデンテに茹でる。塩の量は、海水と同じくらいの塩分(3.4%)になるくらいです。

④②で作ったソースに③のパスタを入れ軽く混ぜ合わせます。最後はお皿に盛り付け、パスタの上にかいわれ大根を散らし、完成!

ワンポイント

愛情たっぷり込めて作る!

①の工程が難しい場合は、アメリカンソースを代用してもOKです!

実食

海老の風味が食欲をそそります!味はもちろん、ボリュームもありとっても満足!ぜひご家庭で作ってみてください。

令和4年度 赤十字講習会のお知らせ

- 高山赤十字病院では、生命と健康を守るため、各種講習会を実施しています。
- どなたでも受講できます。開催日程は次のとおりです。

救急法	基礎講習	8月3日(水)
	救急員養成講習(2日間参加できる方)	8月17日(水)・18日(木)
健康生活 支援講習	支援員養成講習(3日間参加できる方)	第1回:7月14日(木)・15日(金)・21日(木) 第2回:2月16日(木)・17日(金)・24日(金)
	災害時高齢者生活支援講習	8月4日(木)
	こころとこころの架け橋講習	10月13日(木)
	リラクゼーション&癒しのハンドケア	9月15日(木)
	地域で支える認知症	11月16日(水)
幼児安全法	支援員養成講習(3日間参加できる方)	6月23日(木)・24日(金)・30日(木)
	すくすく子育てサポート研修	第1回:6月9日(木) 第2回:7月13日(水)
	子育て支援ボランティア養成講座	7月1日(金)
防災ボランティア	こころのケア研修	10月19日(水)

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により延期になる可能性があります。

今後の実施についてなどのお問い合わせは、日本赤十字社岐阜県支部(TEL:058-272-3561)までお願いいたします。

外来のご案内	診療受付時間	午前8:30から午前11:00まで	初診の方	診察申込票に必要事項をご記入の上保険証、紹介状等を添えて新患者受付へお出し下さい。
	診療開始時間	午前9:00	予約の方	予約票の時間にしがって直接受診科へお越し下さい。
	休 診 日	土曜、日曜、祝祭日、年末年始(12月29日～1月3日)、 日本赤十字社創立記念日(5月1日) ※ただし、救急の場合は24時間対応しております。		
	●電話予約センター ☎0120-214-489 受付時間:午前8:30から午後4:00まで ※ただし初診の電話予約には紹介状が必要です。紹介状のない方は、当日受付窓口へお越し下さい。			

受診の際は必ず保険証のご提示をお願いします。

「飛驒O₂の会」入会のご案内

当院では、在宅酸素療法患者さんの患者会「飛驒O₂の会」を発足し、活動しています。

病気に対する不安や意見を交換する会合や、交流の場を開くことによって、患者さん同士の親睦を図ることを目的に活動しています。

●活 動:患者会総会、小旅行、語る会、親睦会、講演会、レクリエーション
(活動時は当院の医師、理学療法士、看護師、栄養士などが参加します)

●会 費:年間1,000円

なお、会員は当院通院中の患者さんに限らせていただいております。入会の申し込みや詳しく聞いてみたいと思われる方は、健康相談室のスタッフにお問い合わせ下さい。



日本赤十字

発 行:高山赤十字病院 岐阜県高山市天満町3-11
発行責任者:総務企画課

TEL/0577-32-1111(代) FAX/0577-34-4155

URL: <http://www.takayama.jrc.or.jp/>

令和4年新春